

環境経営レポート

(対象期間：2024年3月1日～2025年2月28日)



豊樹脂工業株式会社

作成日：2025年04月29日

目次

1	挨拶	3
2	環境経営方針	3
3	組織の概要	4
4	組織図及び役割・責任・権限	5
5	環境経営目標と実績	7
6	環境経営目標と環境経営計画の達成状況と評価	8
7	今期の環境経営活動について	13
8	外部との環境コミュニケーション	17
9	環境上の緊急事態への準備及び対応	18
10	来期環境経営計画について	19
11	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無	21
12	代表者による全体の評価見直し・指示	22

1 挨拶

当社は 1949 年の創業以来、家庭電化製品などの樹脂加工をはじめ各種プラスチック製品の製造を行っています。プラスチックは軽量、耐摩耗性、耐衝撃性、耐水、耐油、耐触性、などの優れた素材特性によって、無限の可能性を秘めています。その中で当社は幅広いフィールドをカバーする先駆の活動を展開し新たなニーズに応えるために、優秀な人材の育成を図り、新たな可能性に挑戦し続けます。「素材をカタチに」をポリシーとし顧客のニーズに貢献していきます。

2 環境経営方針

<環境経営理念>

プラスチックは軽量化、耐久性、加工性等の面から工業的に大変重要な素材となり、今後も更なる発展が期待されます。一方、主に化石燃料である石油を原料としているため燃えた後に生じる二酸化炭素が大気中に増加することによって地球温暖化の原因となります。また、プラスチックは腐らないので土に埋めても分解されず環境問題となります。

当社のプラスチック成形業の製造事業によって、資源・エネルギー消費などが環境に与える影響を考慮し、以下の行動指針に掲げる活動を推進します。

<環境保全への行動指針>

① 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます。

- 1) 不良率削減によりムダな材料、ムダなエネルギー使用の削減に努めます
- 2) 廃棄物の 3 R（削減、再利用、リサイクル）に取り組みます
- 3) 5 S 活動、作業効率化によりムダのないモノづくりを目指します
- 4) 積極的な設備の見直し、更新により省エネ及び高効率化に取り組みます。

② 環境関連法規制等の遵守

環境に関する法規制、条例及び顧客要求事項を遵守します

③ 環境活動の継続

環境経営目標を設定し、定期的に見直し継続的改善を図ります

④ 環境コミュニケーションの実施

環境経営方針は組織で働くまたは組織のために働く人に周知し、環境意識向上を図るとともに社内外に公開します。

制定日：2016 年 8 月 31 日

改定日：2017 年 8 月 31 日

豊樹脂工業 株式会社

代表取締役社長 竹内 通陽

3 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

豊樹脂工業株式会社
代表取締役社長 竹内通陽



(2) 所在地及び対象範囲

【本社工場】

本社・営業事務所	静岡県静岡市駿河区広野 3 丁目 20 番 14 号
第 1・2 工場	静岡県静岡市駿河区広野 3 丁目 20 番 14 号
第 3 工場(金型工場)	静岡県静岡市駿河区広野 3 丁目 29 番 3 号
第 4 工場、製造事務所	静岡県静岡市駿河区広野 3 丁目 26 番 15 号
第 5 工場	静岡県静岡市駿河区広野 3 丁目 25 番 15 号

【用宗巴町工場】

用宗巴町工場	静岡県静岡市駿河区用宗巴町 1-93
--------	--------------------

【藤枝工場】

藤枝工場	静岡県藤枝市横内 800-26 (藤枝工業団地内)
------	---------------------------



(3) 環境管理責任者及び事務局

責任者	取締役社長室室長	竹内 太志	TEL:054-259-2511
事務局	製造部製造管理課設備保全係長	飯田 敏史	
	製造部製造管理課設備保全係	シュレスト マウサム	
	製造部製造管理課管理係	ビマリ サロズ	
	総務部総務課係長	八木 貴行	

(4) 事業内容

合成樹脂の成形、加工及び組立

(5) 事業の規模

[創 立 年]：1949 年

[資 本 金]：3,000 万円

[売 上 高]：約 43 億円

[従 業 員]：192 人

[工場敷地面積]：8,640 m²(本社工場群：6,780 m² 藤枝工場：700 m² 巴町工場：1,160 m²)

(6) 事業年度

3 月 1 日～2 月 28 日

(7) 設備の紹介

家電製品、自動車部品など小型から大型まで様々な成形及び組立を行っています。

1,800ton をはじめとした大型成形機を複数保有し、地域有数の成形工場となります。

弊社の保有している成形機は以下の通りです。

小型射出成型機(35～180ton) 4 台

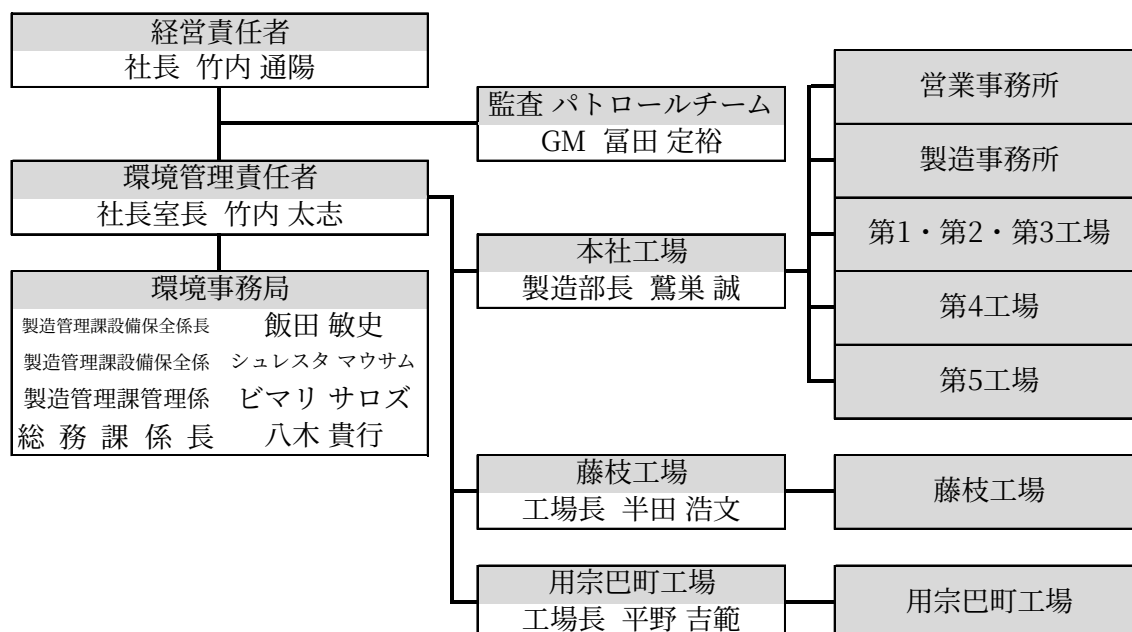
中型射出成型機(210～450ton) 7 台

大型射出成型機(550～1800ton) 11 台



4 組織図及び役割・責任・権限

弊社の従業員は派遣社員を含め約 190 名。半数を外国人社員が占め、その多くは日系人の作業員です。ダイバーシティマネジメントの一環として外国人社員、若手社員にて環境事務局を編成しました。実施体制は次のページの通りです。



	役割・責任・権限
代表者(社長)	- 環境経営全般に関する責任と権限 - 環境経営方針の策定 - 環境管理責任者の任命 - 環境経営方針の策定、見直し - 環境経営に必要な資源の準備 - 代表者による全体の評価と見直し、指示 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境負荷データ等の分析 - 取組状況の評価と社長への報告 - 環境事務局メンバーの任命 - 環境経営目標及び重点環境活動項目を環境事務局へ指示 - 環境事務局の計画精査と実施承認 - 内部監査報告書の精査および是正指示 - 環境経営レポートの精査
環境事務局	- 環境負荷データ等(実績)の集計 - 環境経営目標及び環境活動計画の進捗管理 - 環境負荷及び環境への取組自己チェックの実施 - 法環境関連法規の遵守状況チェック - 環境に関する教育、訓練の計画 - 環境に関する内部監査の計画、実施、報告 - 文書類の作成
工場長	- 各工場の環境経営活動計画の実施状況確認 - 作業教育の実施 - 各工場への評価、改善指示
全従業員	- 活動計画の実施、記録 - 改善提案活動の実行 - 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 - 決められたことを守り、積極的に環境活動へ参加する

5 環境経営目標と実績

【重点項目】

- ① 産業廃棄物排出量削減 → 不良品削減による環境負荷の低減、コスト削減、生産性向上、品質向上、お客様の満足度向上を目指す。
- ② 設備の更新・改善活動を通じて、これ以上の使用量削減は難しいところまできている。そのため現状維持を一先ずの目標とする。

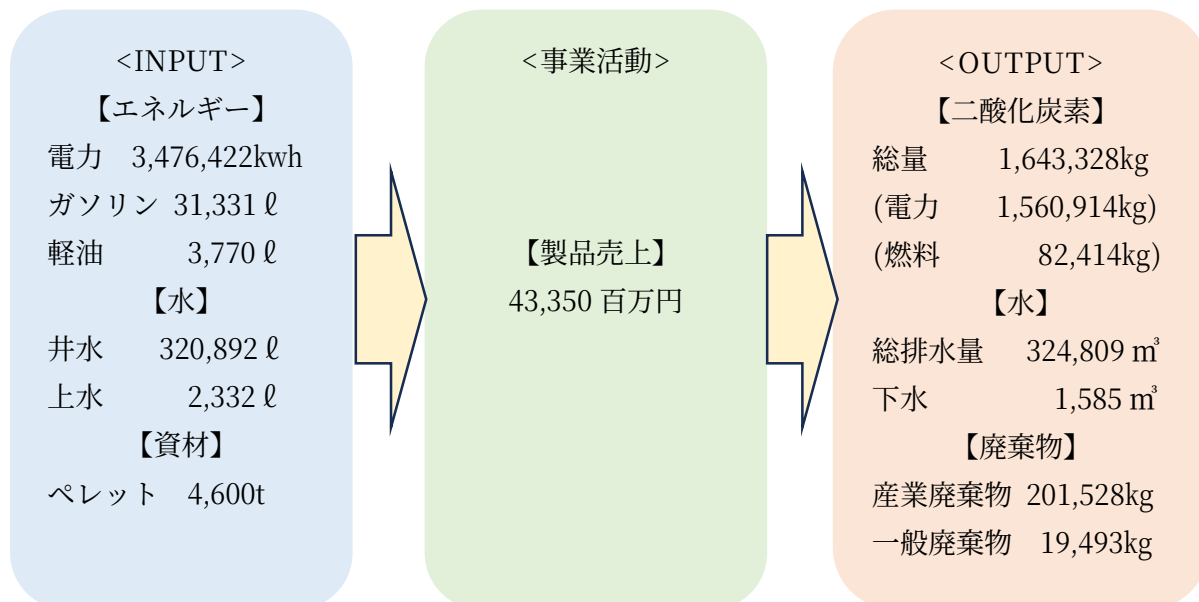
【今期実績及び中長期環境経営目標】

- ・ 二酸化炭素排出係数は中部電力ミライズ 株式会社が公表している 2021 年度の 0.449kg-CO₂/kWh を使用している。
- ・ 2021 年度より地下水利用量を最大理論流量から実測値に変更した。
- ・ 2024 年度新基準は 2023 年度実績を参考に定めた

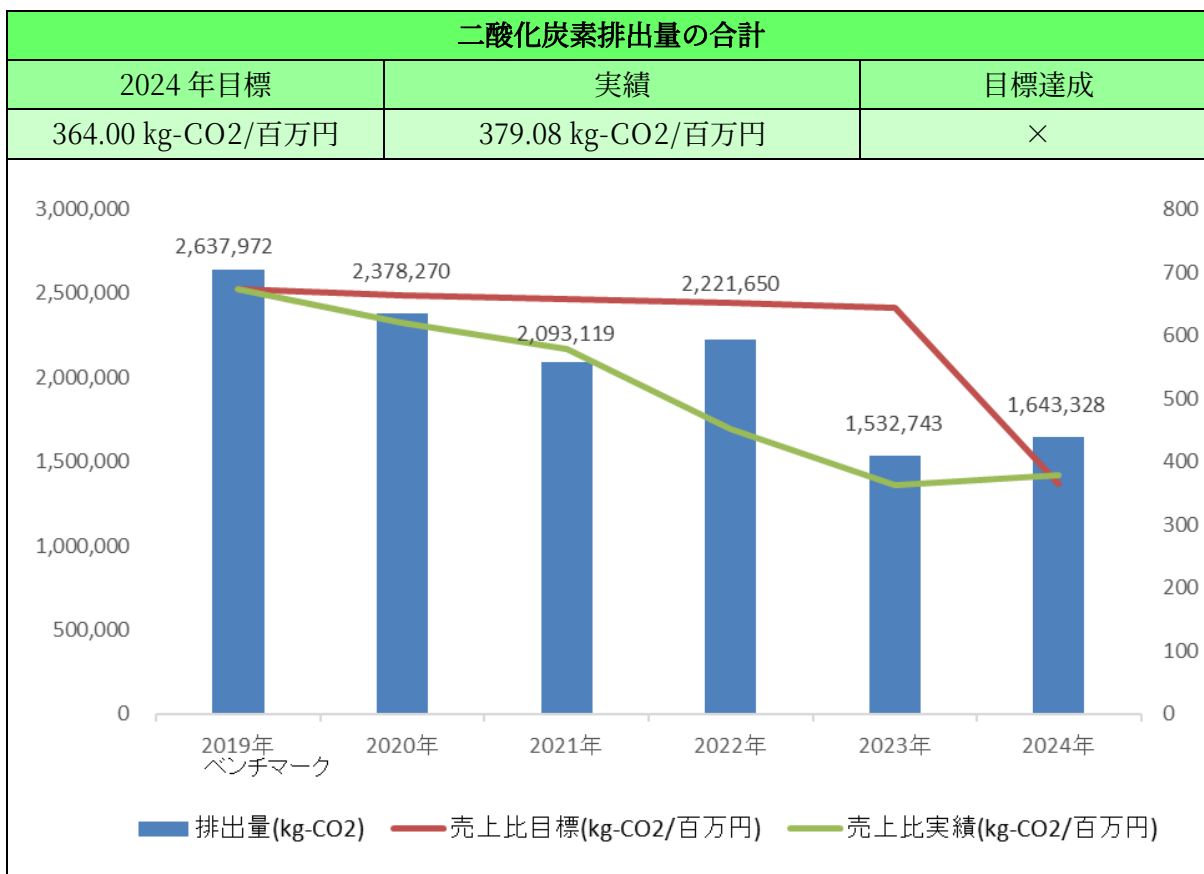
【二酸化炭素総排出量】 **1,643,327.31kg** 2024年度 売上 4,335百万円にて原単位を算出した。

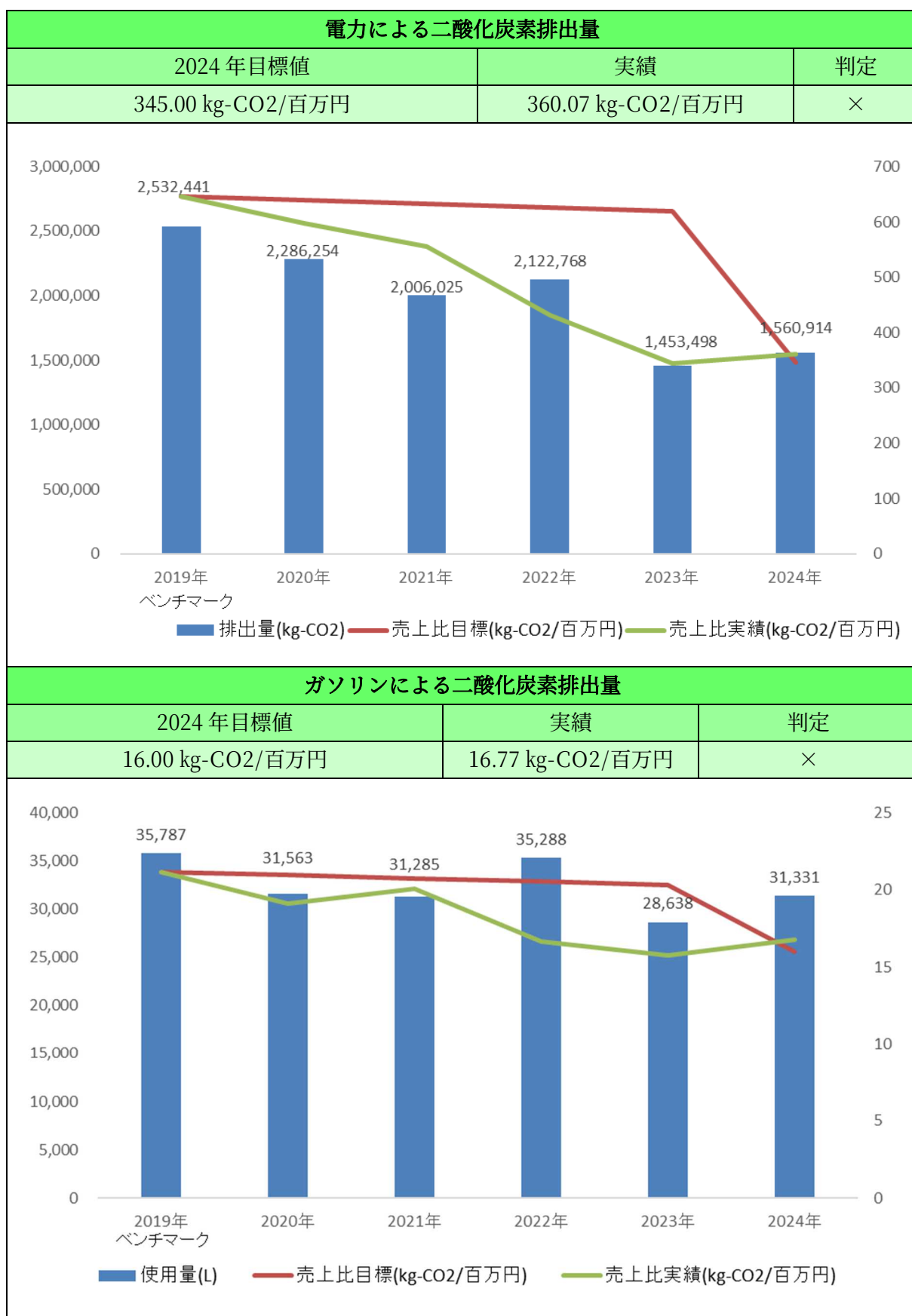
			2023年実績	2024年目標 (新基準)	2025年目標	2026年目標	2024年実績 達成状況
二 酸 化 炭 素	電力	kg-co ₂ /百万円	344.23	345.00	341.55	338.10	360.07
				維持	1%削減	2%削減	×
	ガソリン	kg-co ₂ /百万円	15.74	16.00	16.00	16.00	16.77
				維持	維持	維持	×
	軽油	kg-co ₂ /百万円	3.03	3.00	3.00	3.00	2.24
				維持	維持	維持	○
	合計	kg-co ₂ /百万円	363.00	364.00	360.55	357.10	379.08
				維持	1%削減	2%削減	×
廃 棄 物	産業 廃棄物	kg/百万円	51.32	47.00	46.50	46.00	46.49
				低減	0.5kg/年削減	0.5kg/年削減	○
	一般 廃棄物	kg/百万円	4.10	5.00	5.00	5.00	4.50
				維持	維持	維持	○
水	水道水	m ³ /百万円	0.36	0.45	0.45	0.45	0.54
				維持	維持	維持	×
	地下水	m ³ /百万円	69.78	80.00	80.00	80.00	74.02
				維持	維持	維持	○
生産活動現場の取組 改善提案 件数			1,200	1,200	1,200	1,200	1,187
				維持	維持	維持	×

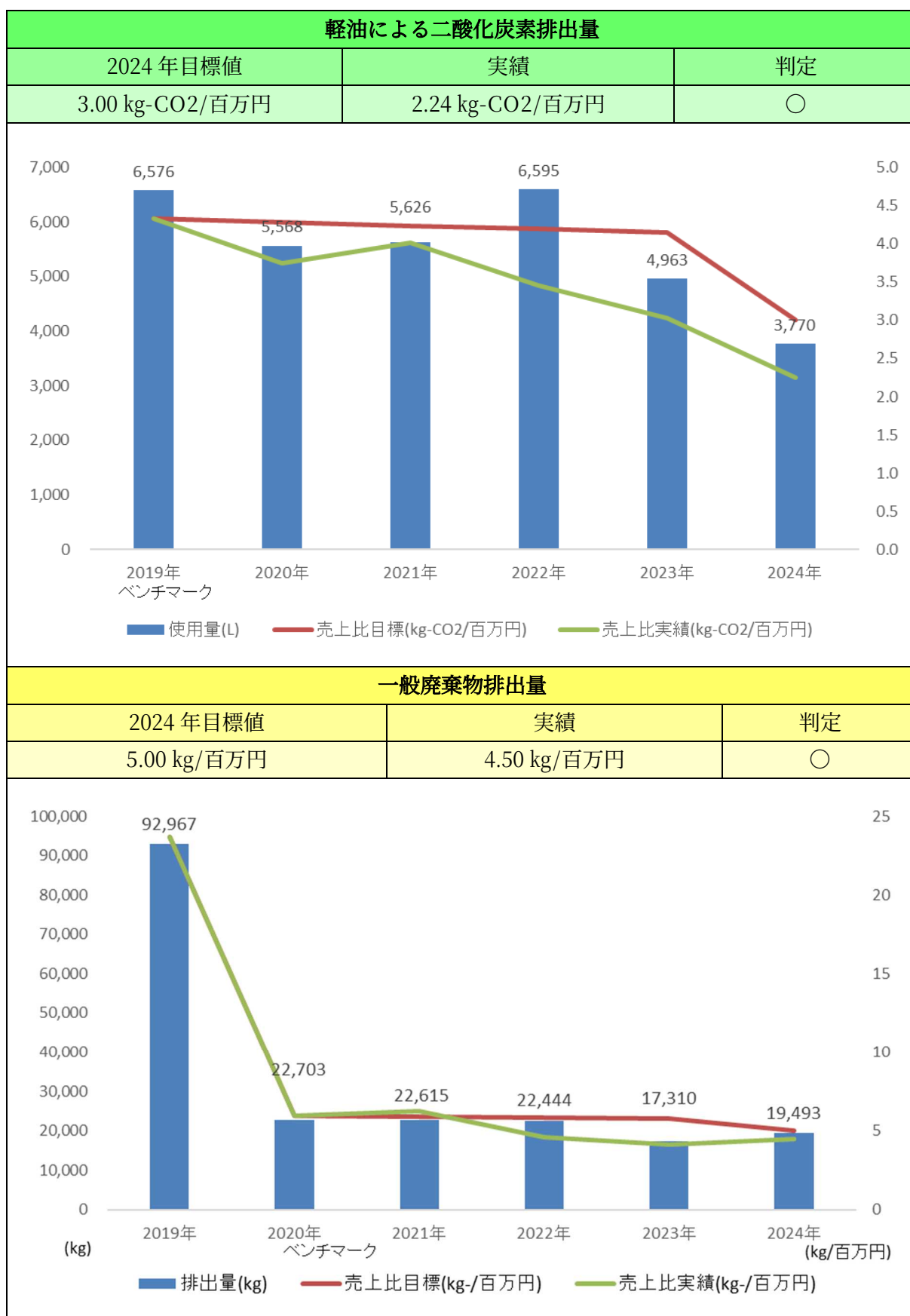
【マテリアルバランス】

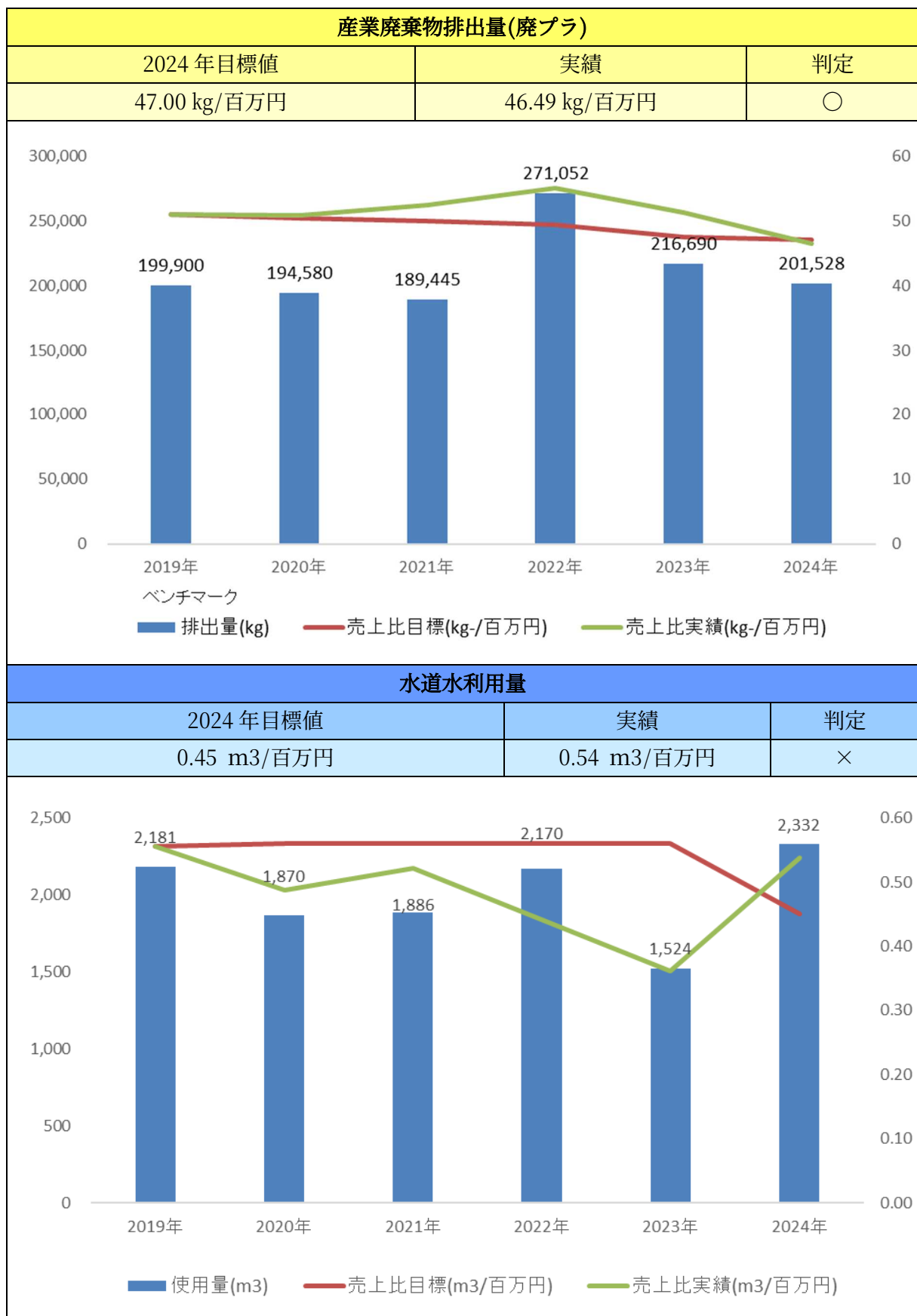


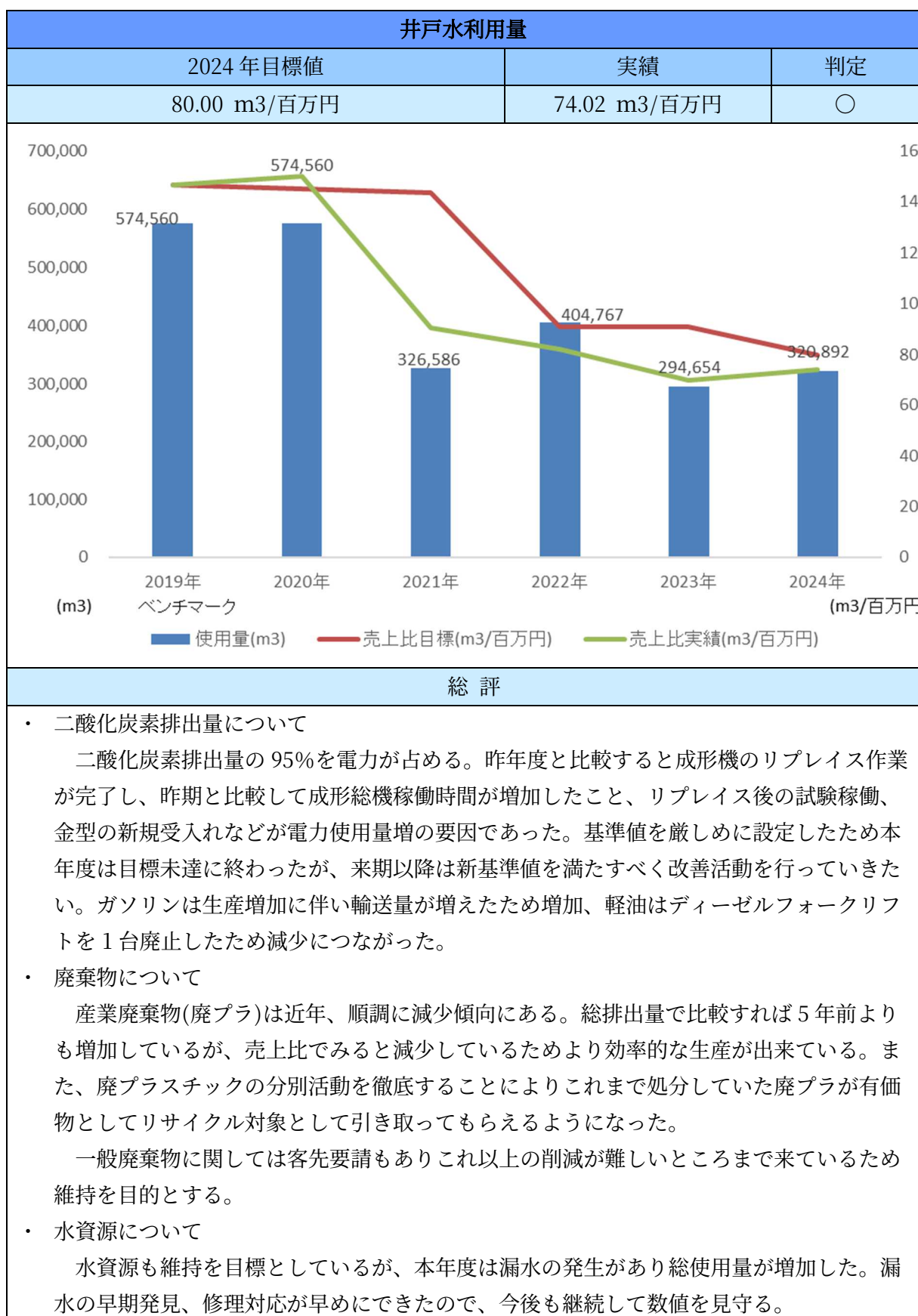
6 環境経営目標と環境経営計画の達成状況と評価











7 今期の環境経営活動について

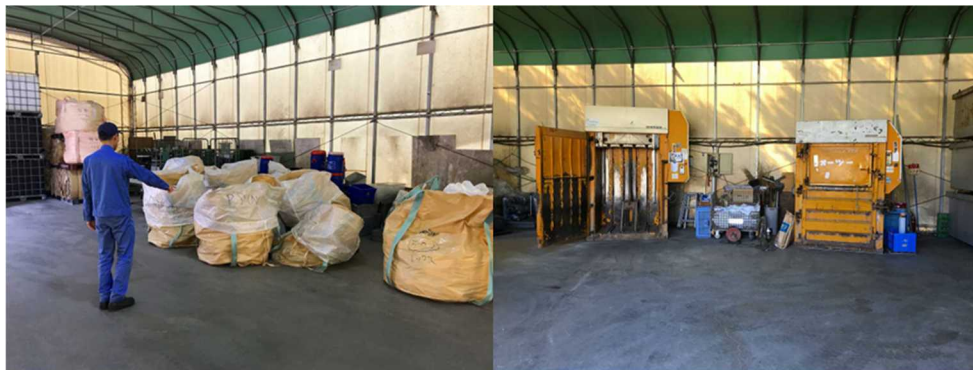
今期の環境経営計画と結果は次の表のとおり。

評価 ◎：計画達成 ○：計画通り実施した △：未実施があった ×：大きなエラーがあった

	計画の取組項目	担当部署	実績と評価(◎○△×)	
電力使用	成形設備総合効率分析の実施	成形課	成形状況を数値化して総合効率の向上と改善活動を行う	○
	コンプレッサーフィルタの清掃	製造管理課	毎週確認できている	◎
	省エネ成形機への更新	製造管理課	新型の成形機に更新完了	◎
	圧縮空気の漏れチェック	成形 製管	毎月実施済み	◎
	不要な照明の消灯	全員	消し忘れが目立った	△
化石燃料	フォークリフトのエコ運転	物流係	ルール通り運用した	◎
	フォークリフトの無意味な空ふかし禁止	物流係	騒音、振動対策も含み厳禁としている。よく守られている	◎
	アイドリングストップの継続	物流係 営技課	積荷に負担をかけない安全運転を行った	◎
	不要な荷物を降ろす	物流係 営技課	定期的に積載状況を確認	◎
	社用車メンテナンス	総務課	毎週実施している	◎
一般廃棄物	裏紙利用の推進	全員	定着し始めている	○
	紙類のリサイクル	全員	浸透してきている	○
	紙類とビニールの分別	成形・ 組立課	徹底されていた	◎
産業廃棄物	廃プラスチックの分別	成形課	徹底できた	◎
	不良率削減(金型)	営業技術課	一部製品の原因究明を継続して行う	○
	金型のメンテナンス	金型保全課	計画通りに実施した	◎
	外観検査定時点検	成形課	不良品の早期発見に努めた	◎
	マニフェストの管理	製造管理課	管理徹底していた	◎
	分別収集の徹底	全員	一部混在しているのを発見した	×
	ダンゴ削減（製品切り替え時発生：残留溶融プラスチック）	製造管理課	イレギュラーが多く計画が崩れる時もあったが、柔軟にリカバーできた	○
水	節水活動	全員	昨年からやや増えた	△
	冷却水の再利用	製造管理課	冷却水の再利用	◎
	廃油保管状況確認	製造管理課	定期巡回実施、漏洩なし	◎

(3) 産業廃棄物処理先訪問

2024 年 10 月に委託先の産業廃棄物処理会社の施設を見学しました。施設内では産業廃棄物の保管・分別から処理までの過程を視察し、適切な処理が行われていることを確認しました。



(4) 安全パトロール

安全な職場環境を保つことは、従業員の健康を守り事故や災害を未然に防ぐことに繋がります。安全な職場環境を提供することは企業の社会的責任（CSR）の一環として位置づけられています。安全パトロールの結果をフィードバックすることにより、従業員の意識やスキルを向上させることにもなり、持続可能な組織を築くうえで重要な要素の一つとして考えられます。



(5) その他の環境経営計画の実績

取組事項	担当者	評価
安全パトロールの実施	社長 経営陣	不安全行動、設備・装置の不具合、5S の状況を定期的に確認し、改善を指示した。作業現場の安全衛生意識が向上した。
リサイクル活動の継続	製造管理課 成形課 総務課	社内のレイアウト変更に伴い、設備更新、遊休設備の整理を行った。保管スペースの効率化、資産の有効活用につながった。また、分別を徹底することにより産業廃棄物排出量の削減につながった。
設備定期点検の強化	製造管理課	定期点検の実施により機械の劣化や故障を早期発見し、製品品質を一定に保つことに繋がった。ダウンタイムを回避し、生産性も向上した。

8 外部との環境コミュニケーション

外部からの環境に関する苦情、要望は無かった。

外部との環境コミュニケーションについては以下の活動を実施した。

- ・ 地域社会との交流

会社の環境マネジメント活動の一環として地域の清掃活動を積極的に推進しています。この活動は地域の環境保護に寄与するだけでなく、外国人との共生と理解を推進し、企業としての社会的責任を果たすための重要な取り組みです。

当社の環境保護活動には、外国人社員も積極的に参加しています。この取り組みは文化や国籍を超えて社員間の連帯感を育むと同時に、地域社会への貢献を促進しています。外国人社員が地域の清掃活動に参加することで、多様性を尊重し、地域社会との結びつきを深める機会となっています。地域全体での環境保護意識の向上に貢献し、持続可能な未来の実現に向けた貢献を続けていきます。



- ・ 職業体験、インターンシップの受入れ

令和6年度は工業高校や特別支援学校のインターンシップ受入れを行いました。実施に現場の緊張感や雰囲気を経験してもらい、一人でも多くの生徒の皆さんに就業体験を通じて業界・業種理解の助けになればと思います。



9 環境上の緊急事態への準備及び対応

■ 訓練目的

プラスチック成形工場では高温での加工や可燃性の材料を取り扱う場面が多く発生します。また、プラスチックは石油を原料とする高分子化合物で、燃える際には非常に高い熱を発生させます。この熱が周囲に伝わり、火災の拡大を助長することから、消防法においても指定可燃物に該当します。火災が発生した際の初期対応は、被害の拡大を防ぐ上で最も重要です。消火訓練を通じて火災リスクへの理解深めると同時に従業員の安全意識を高める効果があります。

今回は、地震発生を想定し初期対応と避難、そして出火に備えた消火訓練を実施しました。水消火器を用いて消火訓練を実施することにより、消火器の利用原則 P.A.S.S.(Pull、Aim、Squeeze、Sweep)を理解し、火災発生時の適切な対応を体験しました。

防災訓練について Bảng khảo sát tập huấn phòng chống thiên tai

本日の訓練は【地震】を想定した避難訓練です。【地震】に対する避難は「少しでも早く、少しでも広い」が第一です。
Cuộc diễn tập hôm nay là diễn tập sơ tán trong trường hợp xảy ra động đất. Khi nói đến việc sơ tán khỏi động đất, ưu tiên hàng đầu là: "Càng nhanh và càng rộng rãi càng tốt".

避難時のポイントは以下ようになります。

Những điểm cần nhớ khi sơ tán:

- ① 避難開始時に周りの人に声掛け
Khi bắt đầu sơ tán, hãy kêu gọi những người xung quanh.
- ② 現場責任者、部署責任者は残った人がいないか確認（見える範囲で良いです）
Quản lý tại địa điểm và quản lý bộ phận kiểm tra xem còn ai ở lại không (Bảng cách quan sát là được)
- ③ 避難経路上に障害があれば自分で避難経路を判断する
Nếu có chướng ngại vật trên đường sơ tán, hãy tự tìm cho mình đường đi thuận lợi.
- ④ 最短时间内で避難する
Sơ tán trong thời gian ngắn nhất có thể.
- ⑤ 部署ごと整列して点呼時間を短縮する
Xếp hàng theo bộ phận để rút ngắn thời gian điểm danh.

Fire Drill: How to Respond When You Discover a Fire

1. Raise the alarm:

- Shout loudly and clearly to alert others in the area.
- Use phrases like "Fire!" or "Evacuate now!" to convey the urgency of the situation.



2. Evacuate promptly:

- Do not wait for instructions before evacuating, especially if you are able to do so independently.
- Know the evacuation routes in advance and follow them during the drill.
- Cover your mouth and nose with a handkerchief or clothing to avoid inhaling smoke.
- Assist those who may have difficulty evacuating, such as people with disabilities or the elderly.



3. Consider using a fire extinguisher:

- Only attempt to extinguish a small fire if you are confident and trained in using a

訓練の手順を示した手順書

■ 評価と振り返り

実際に対応手順や消火器を使用することで、初期消火対応を理解できたという声が多かった。また、母国でこのような訓練をしたことが無かった者や過去に調理中にフライパンから火が出た者も居たようで、訓練自体は好評であった。

しかし、一般的に家庭での油火災では消火器の利用を慎重に行う必要があり、別途対応を指導する必要が生じた。



10 来期環境経営計画について

課題とチャンスを次のように分析し、第 77 期社長方針を以下のように設定した。

課題	チャンス
人件費、物流費などの各種製造コストの上昇	- 生産体制強化による高効率化、生産力増強 - 収益性の向上と労働環境整備による組織見直し
廃プラスチックの処理費増大	- 経費削減による競争力向上 - 不良率低下による、処分コストの低減
人員構成の偏り(高齢化)	- 社内制度の革新、作業の標準化 - 働き方改革とダイバーシティ経営の強化 - 会社広報の再構築および組織文化の改革

【第 77 期社長方針】

- ・既存顧客との信頼関係を深め新たな受注を確保する
- ・新規製品の安定的な立ち上げにより品質向上と収益性を高める
- ・生産、物流方法の見直し、設備投資、新技術活用により生産効率、業務時間の短縮を図る
- ・広報活動の強化、地域住民、教育機関と連携し企業の社会的責任を果たす
- ・組織体制の変更、教育強化、社内活性化を通して、効率的で強い組織を構築する
- ・改善提案活動により、「5 S改善・見える化・時間短縮」を進め 1200 件達成。
- ・工程内不良の削減、資源の 3 Rを進め、産業廃棄物量を 2024 年度原単価比で 0.5kg 削減

地球温暖化、異常気象などの気候変動など私たちを取り巻く環境は年々深刻になってきています。経営理念である「従業員の豊かなくらしに貢献する会社」を実現するためには、循環型社会の構築、生物多様性保全など環境課題の解決に対するコミットメントとアクションが必要です。企業活動の重点課題として「電気使用量の削減」と「産業廃棄物の削減」を掲げていますが、環境、社会の面で 5 つ行動理念を採択し SDGs に取り組んでいます。

- ・女性も活躍できる職場
- ・働きがいのある仕事を
- ・多様な国籍の方にも働きやすく
- ・環境に配慮した取り組み
- ・静岡の豊かな海を守る



来期の環境経営計画を以下のように策定した

	SDGs	計画の取組項目	担当部署	実施タイミング
電力使用		成形設備総合効率分析の実施	成形課	毎月
		コンプレッサーフィルタの清掃	製造管理課	毎月
		フロン類 第一種特定製品点検	各課	3 か月ごと
		圧縮空気の漏れチェック	成形 製管	毎月
		不要な照明の消灯	全員	随時
化石燃料	  	フォークリフト日次点検の徹底	フォークリフト搭乗者	作業前
		フォークリフトのエコ運転	物流係	随時
		フォークリフトの無意味な空ぶかし禁止	物流係	随時
		アイドリングストップの継続	物流係 金型保全課	随時
		不要な荷物を降ろす	物流係 金型保全課	随時
		社用車メンテナンス	総務課	毎週
一般廃棄物	 	裏紙利用の推進	全員	随時
		紙類のリサイクル	全員	随時
紙類とビニールの分別		成形・組立課	随時	
産業廃棄物		廃プラスチックの分別	成形課	随時
		不良率削減(金型)	営業技術課	適宜
		金型のメンテナンス	金型保全課	適宜
		外観検査定時点検	成形課	随時
		マニフェストの管理	製造管理課	毎月
		分別収集の徹底	成形課	随時
		ダンゴ削減	製造管理課	毎週
水	 	節水活動	全員	随時
		冷却水の再利用	製造管理課	随時
		廃油保管状況確認	製造管理課	毎週

11 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

No	法律・条令・その他の名称	環境側面に関係する	遵守状況	
1	消防法 静岡県火災予防条例	第4類危険物の使用・保管	届出済	○
		合成樹脂類の使用・保管	届出済	○
		消火設備の点検・設置	業者点検 2025.02.17	○
2	静岡県地下水の採取に関する条例	揚水設備の設置	揚水届出 1980.3.21 採取報告書 2025.01.09	○
3	騒音規制法	合成樹脂用射出成形機 コンプレッサー(3.75kW) クーリングタワー(0.75kW) 冷凍機(3.75kW)	本社 2019.10.08 藤枝 2020.07.07 巴町 2021.09.24	○
4	振動規制法	合成樹脂用射出成形機 コンプレッサー(7.5kW)	本社 2019.10.08 藤枝 2020.07.07 巴町 2021.09.24	○
5	労働安全衛生法	有害物の使用・保管	対象外	-
6	下水道法	排水設備の設置 特定施設の届け出 規制基準の遵守	変更なし	○
7	浄化槽法	保守点検及び清掃 指定検査機関による水質検査	業者点検 2025.02.13	○
8	廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	産業廃棄物の分別管理・保管表示 運搬・処分委託業者の許可証確認 マニフェスト交付状況等報告	報告日 2024.05.21	○
9	フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検 成形機用冷凍機	定期点検 2024.07.04 簡易点検 2024.12.26	○
10	水質汚濁防止法	廃油流出対策(自主規制)	対象外	-
11	ポリ塩化ビニフェル廃棄物の 適正な処理の推進に関する 特別措置法	PCB廃棄物管理	報告書 2024.4.15	○

環境関連法規制などの遵守状況評価の結果、環境関連法規制などは遵守されていました。

なお、違反訴訟なども過去3年間ありませんでした。

2025年02月28日

環境管理責任者 竹内太志

12 代表者による全体の評価見直し・指示

当社は、2024 年度環境経営活動において、特に重点課題として掲げた「廃プラスチックの削減」と「電力使用量の削減」について取り組みを推進しました。

廃プラスチック削減に関しては、不良率の低減活動、分別・リサイクルの強化によって、売上高原単位あたりの産業廃棄物排出量（廃プラ）削減目標を達成することができました。特に廃プラスチック量は昨年より排出量が 15 トン以上減少しており、大幅な改善となります。

電力使用量に関しては、省エネ型成形機への更新等を進めたものの、稼働時間の増加や試作業務増加の影響により目標未達となりました。成形条件の最適化やムダの削減など、さらなる対策が必要です。また、水使用量については漏水発生により一部目標未達となったものの、早期発見・修理対応ができた点は、意義ある成果と評価します。

【環境経営システムの有効性について】

当社の環境経営システムは PDCA サイクルに基づき運用されており、環境経営目標に対して定期的な進捗確認と評価を通じて継続的改善に取り組んでいます。

【見直し・指示】

- ・環境経営方針 → 変更なし

方針達成のため、以下を推進してください。

成形工程のさらなる不良率低減、切り替え時の廃棄ロス削減など廃プラ削減を進めること。

成形条件の最適化、ムダの削減などにより電力使用量削減を進めること。

水使用について漏水防止対策と漏水時に気づける仕組みをつくること。

環境教育を引き続き実施し、若手社員および外国人従業員への環境意識浸透を図ること。

環境経営目標の設定・進捗管理プロセスの見直しを行い、システムの有効性をより高めること。

- ・環境経営目標 → 変更なし

現状基準をもとに 3 ヶ年計画を実施すること。

- ・実施体制 → 変更なし

見直し実施日：2025 年 4 月 28 日

代表取締役 竹内 通陽